

【別添②】

機能要件

佐賀県感染症情報センターシステム 機能一覧

1 機能一覧

表 1 機能一覧

No	機 能		概 要
1.	登録機能		厚生労働省「感染症サーベイランスシステム（NESID）」から、CSV ファイルの感染症情報を抽出し、登録可能とする。
2.	公開機能		佐賀県感染症情報センターホームページと同等のホームページを公開できること。 使用するグラフは新システムで、作成しホームページ等文言はフリーで入力できるものとする。 週報は、PDF 形式でホームページに公開する。
3.	帳票出力機能	帳票出力	感染症情報を抽出し、佐賀県感染症発生動向調査週報及び月報（Excel）（以下週報）を作成する。 情報センター業務の「病原体検出状況報告」の集計を行う。 情報センターで作成している「佐賀の感染症（Word 文）」に、使用するグラフを作成する。 集積したデータをExcel 形式で出力できること。
4.	マスタ保守・管理機能	ユーザ管理マスタメンテ	ユーザ情報の追加・削除・変更を可能とする。
		グループ管理マスタメンテ	ユーザをグループ化し、事務所単位の管理を可能とする。
		アクセス権限マスタメンテ	システム利用機能別に権限を与えることによって、データの機密性を高くする。
		コード管理マスタメンテ	システム上必要なデータをコード化し、マスタ管理を行う。
		お知らせマスタメンテ	「お知らせ」の設定を期間指定で可能とする。
5.	お知らせ機能	お知らせ機能	利用者毎に必要な情報や周知事項等の情報を提供する。

2 その他機能一覧

表 2 その他機能一覧

No	機 能	概 要
1.	認証基盤連携	職員は認証基盤連携（シングルサインオン）を行う。運用保守業者は、専用のIDでシステムへログインする。

3 非機能一覧

表 3 非機能一覧

No	機 能	概 要
1.	可用性要件	原則として 24 時間 365 日利用なシステムとすること。 仮想サーバは共通基盤の可用性要件に準ずるものとする。
2.	機密性要件	佐賀県情報セキュリティポリシーに準拠したシステムとし、不正アクセス・コンピュータウイルス等への適切なセキュリティ対策を講じ、安全性・信頼性を確保すること。 基本のアクセスセキュリティレベルの定義を行い、ユーザ毎に設定を変更できる機能を実装すること。 佐賀県で稼働しているActive Directoryで、管理されているユーザ名・パスワードによる認証が可能であること。
3.	拡張性要件	感染症の対象疾患の増減に対して、容易に機器等の拡張が可能なシステム構成とすること。 本システムのサーバは共通基盤の仮想サーバ基盤により提供されるため、必要に応じてサーバのCPU、メモリ、ディスク容量の拡張は可能である。 技術の進展に柔軟かつ低コストで対応できるよう、広く利用されている孤高最適な標準に基づく技術を採用すること。
4.	運用性要件	本システムのハードウェア部分となる共通基盤の運用保守は、共通基盤の運用保守方針とする。この内容に準じ県担当及び関連業者より提供されるため、受託者はその内容を把握し本システムの円滑な運用保守を行うための環境整備に努めること。 仮想サーバのバックアップは、共有基盤から提供されるストレージの機能を用いて実施される。